

DEI 2025 February Diversity Equity Inclusion NEWSLETTER



Vol.
09



北海道大学
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部
Office of Diversity, Equity, and Inclusion

北海道大学 2024 DEIキャンペーン 連続講演会

DEI推進本部では、本学が目指す「世界の課題解決に貢献する Diversity, Equity, and Inclusion (DEI)」に向けて、本学構成員が DEIへの理解をより一層深め共有することを目的に、全4回の連続講演会を開催しました。教職員・学生等延べ213人が参加しました。



【パープルリボン講演会】

デートDVって知っていますか？ ～傍観者にならないために～

講演者：志堅原 郁子 一般社団法人アウェア認定・デートDV防止プログラム・ファシリテーター

身近に起こるデートDVについて、実際にあった暴力の事例を交えながら、身体への直接的な危害の他にもデジタル暴力が深刻化していること、暴力は加害者・被害者を取り巻く社会環境が大きく影響したジェンダー規範に基づいて起こるものであること等をお話いただき、参加者はデートDVの実態について学び考える機会となりました。



令和6年11月22日(金)



DEI (Diversity, Equity, and Inclusion)の 視点からみる大学のイノベーション創出とリーダー育成

講演者：我喜屋 まり子 京都大学経営管理大学院 客員教授

百年記念会館とオンラインのハイブリッド形式で行われた特別講演会には、総勢93名が参加しました。我喜屋氏のグローバルな経験に基づいた、今後の日本の大学に求められる組織改革、現在の世界における日本の立ち位置と今後把握すべきDEIの視点、学生への熱いメッセージを頂戴し、講演後には予定時間を超過するほど多くの質問にお答えいただき盛況に終了しました。

【「障害者週間」特別講演会】

耳が聞こえなくなったら～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～

講演者：牧野 友香子 株式会社デフサポ 代表取締役

先天性の重度難聴がある牧野氏から、大学生活や職場で体験した様々な困難や、障がいと向き合いながらリーダーシップを発揮しキャリアを構築されてきた経験を、障がい者、女性、母親といった様々な視点でお話いただきました。さらに起業や海外移住など、障がいの有無に関わらず、人生やキャリアを切り拓く挑戦するマインドを学ぶ機会となりました。



令和6年12月18日(水)

未来を創る性と健康
プレコンセプションケアから始める
ライフサイクルとキャリア設計



北海道大学大学院 保健科学研究院
助産学/母性看護学/女性医学教室
蝦名 康彦
<https://ebinalab.org/>



未来を創る性と健康： プレコンセプションケアから始めるライフサイクルとキャリア設計

講演者：蝦名 康彦 北海道大学保健科学研究院 教授

特に女性の健康課題に焦点を当て、月経、妊娠・出産、更年期と身体に起こる変化等、ライフサイクルとの関連性や健康維持の重要性について、産婦人科医としてのご経験も交えながら説明いただきました。プレコンセプションケアについて理解するとともに、ライフプランとキャリア形成を考えるヘルスリテラシーを高める機会となりました。

2024年度 桂田芳枝賞受賞者

2024年12月4日(水)、本部事務局棟役員会室において「国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞」授与式が行われ、第二回受賞者4名に賞金清博総長から顕彰状および報奨金(目録)が授与されました。賞金総長からは、これまでの受賞者の研究・教育等の功績が称えられるとともに、今回の受賞を励みに今後ますますご活躍されることを期待しています、との激励の言葉が述べられました。授与式の後には受賞者を囲んでの懇談会が和やかに行われました。



大学院保健科学研究院
教授

池田 敦子 IKEDA Atsuko

博士(医学)(北海道大学)。東京理科大学卒、万有製薬(株)勤務後、北海道大学大学院に進学し修士号、博士号を取得。環境健康科学研究教育センターを経て、2021年より現職。専門は環境疫学、衛生学。室内環境と健康および出生コホート研究を推進。



このたび桂田芳枝先生のお名前を冠した賞をいただき、大変光栄に思います。幸いこれまでロールモデルとなる素晴らしい女性指導者、先輩、同僚に恵まれ、研究生活を送ってきました。桂田先生をはじめとする先人の先生方が切り開き、築いた教育・研究環境をさらに発展させ、大学生・院生・若手研究者が多様性を尊重し、活躍できる環境を醸成することが、この賞をいただいた私の役割だと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いたします。

大学院水産科学研究院
教授

笠井 久会 KASAI Hisae

博士(水産科学)(北海道大学)。日本学術振興会、水産科学研究院 助教、准教授を経て2024年より現職。この間、日本水産学会 水産学奨励賞、北海道科学技術奨励賞等を受賞。魚介類感染症の防除について研究を行っている。



桂田芳枝先生の名を冠した名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。これまで支えて下さいました吉水名誉教授をはじめ皆様により感謝申し上げます。本賞を受賞したことを大きな励みとし、より一層研究と教育に邁進し、社会の発展に貢献できるよう努めて参ります。また、桂田先生のご功績に学び、次世代の研究者が力を発揮できる環境づくりを力尽くしていきたいと考えております。

大学院医学研究院公衆衛生学
教授

玉腰 暁子 TAMAKOSHI Akiko

名古屋大学医学部卒。名古屋大学、国立長寿医療センター、愛知医科大学を経て、2012年より現職。地域で生活する人々の健康関連要因に関する疫学研究を実施。若者を対象に研究を展開する北大COI-NEXTでは2024年度よりプロジェクトリーダーを務める。



研究の道に進む女性が少なかった時代に活躍された桂田芳枝先生のお名前を冠した賞をいただき、大変光栄に存じます。人はそれぞれ違った人格として生まれ育つ以上、多様性は認めるものではなく存在するものとも言えますが、それが認められるために努力をされてきた先人のおかげで今があり、そして未だ途上なのだと思います。賞をいただきながら僣越ですが、DEIを推進する北海道大学が、「女性」を特別視しなくて済む時代が来るよう、皆で力を合わせていきたいものです。

北方生物圏フィールド科学センター
教授

長里 千香子 NAGASATO Chikako

博士(理学)(北海道大学)。日本学術振興会特別研究員、北方生物圏フィールド科学センター准教授を経て、2020年より現職。海藻の受精、発生、生活環制御に関する研究を行っている。日本植物学会奨励賞等を受賞。2019年より室蘭臨海実験所所長。



桂田芳枝先生のお名前を冠した賞を頂戴し、誠に光栄に思います。私が所属する北方生物圏フィールド科学センターは、教員が主に地方に駐在し、施設とフィールドの管理をしながら、日々、研究・教育に打ち込んでいます。地方施設は札幌キャンパスとは異なる課題を多く抱えております。教職員とそこで学ぶ学生が、恵まれたフィールドを目の前に思いのままに活躍できる環境整備の実現に尽力していきたいと思っております。

※50音順

EVENTS

ダイバーシティ・インクルージョンに関する図書展示

期間 2025年
2月3日(月)
→3月14日(金)

会場 附属図書館
(本館)



Woman's Career Canvas ～女子学生が描くキャリアの未来図～

日程 2025年3月3日(月)

時間 15:30-17:30

会場 エンレイソウ



第2回 北大女性教授 ネットワーキングの会

日程 2025年3月10日(月)

時間 15:00-17:00

会場 附属図書館(本館)

CONTACT US



北海道大学
ダイバーシティ・
インクルージョン推進本部
Office of Diversity, Equity,
and Inclusion

公式ウェブサイト
www.dei.hokudai.ac.jp



Email office@dei.hokudai.ac.jp